



令和8年第2回定例会特集

令和8年度補正予算成立

一般会計補正予算 13億9400万円

令和8年6月16日～6月25日までの9日間、区議会定例会が開会され、議案33件他、請願審査等を行いました。その中で、一般会計補正予算案が上程され、中東情勢の悪化や物価高の影響から中小企業を守るための事業等が盛り込まれました。

Work Topic1

緊急要望書を立憲民主党議員団と共同提出

原原油高・物価高により、区内の中小企業や住民生活、医療・物流現場に深刻な影響が広がっていることから、区に対し追加の支援策を早急に実施するよう要望しました。4月に中道改革連合・公明党・立憲民主党が合同で実施した影響調査を基に、立憲民主党議員団と共同で提出しました。



Work Topic2

代表質問にて

災害対策士を活用した職員の防災対応能力向上について

Q 大規模災害の初動対応に必要な職員の判断力・行動力を高めるため、人事異動による経験不足や訓練の定型化、夜間・休日の限られた人員での対応も踏まえ、「災害対策士」などの体系的な人材育成を活用し、実践的な防災対応能力の向上を推進すること。

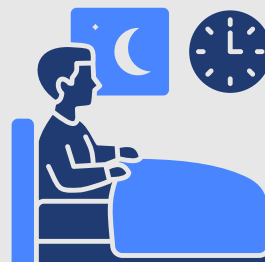
A 災害対策士の資格取得は、初動対応や避難所運営など、現場対応力の向上に資する一つの方法と捉えており、その効果や実効性を踏まえながら導入を検討し、災害時に確実に対応できる防災体制の確立につなげてまいります。



睡眠障害の認知向上の取組について

Q 子どもの起立性調節障害や産後の睡眠不足、高齢者の睡眠の質低下、睡眠時無呼吸症候群など、全世代で睡眠障害が深刻化しています。2026年6月に「睡眠障害」が標榜診療科となったことを踏まえ、正しい知識の普及と相談・受診体制の周知など、区の睡眠障害対策を強化すること。

A 今後、港区医師会とも連携し、気になる症状があればかかりつけ医に相談できることを周知するとともに、睡眠障害に関する情報を区ホームページにおいて分かりやすく発信してまいります。



Work Topic3 地域活動から

地域では様々なボランティア活動が行われています。それぞれの団体が自発的に地域の課題解決に取り組まれてれています。私もそうした活動に触れながら地域課題の改善に尽力しています。

重度心身障害児(者)を守る会の集いに出席

重症心身障害児(者)を守る会結成44周年感謝の集いに参加。堀信子会長に継ぎ、近藤暢子会長が就任。これからも多くの学びを頂きながら、



防災啓発講座開催

防災士として区民の防災意識向上を目的に独自に講座を開催。区が推奨する「在宅避難」や携帯トイレの備蓄、防災食の提案など一人ひとりができる取り組みを周知しています。



ウォーキングフットボールの普及啓発を促進

高齢者や障がい児者の健康促進に向け、ウォーキングフットボールの普及を推進しています。「走らない・ぶつからない・奪わない」を基本ルールとする、誰もが楽しめるインクルーシブスポーツです。



港区イノベーションラボ議員交流会に参加

港区イノベーションラボは、中高生が地域課題の解決策を研究し、区長へ直接提案する政策参加プロジェクトです。今回、高校生研究員の皆さんとのディスカッションに参加し、若い世代の率直な意見や発想に触れる貴重な機会となりました。



ふれあい運動会開催

4月29日(祝)白金小学校にて、周辺12町会自治会・港区青少年対策高松地区委員会主催のふれあい運動会を開催。第38回となる町ぐるみの運動会に実行委員として参加しました。



メリーロード高輪75周年祝賀会に出席

メリーロード高輪商店会75周年祝賀会に参加しました。上京以来35年間お世話になってきた大切な商店街です。これからも人と人がつながる地域の拠点として発展するように、取り組んでまいります。



Work Topic4 皆さまからの声をカタチに！

高輪1丁目バス停前の路面補修



高輪1丁目の二本榎通りの路面が、バスの重量により歪みが生じ、自転車を走行するのに危険があると感じ、高輪支所まちづくり課に連絡。補修するとともに強度の高い仕上げにいただきました。

白金6丁目道路案内板設置



白金6丁目、行き止まりを知らず侵入してくる車が多く、切り返す際に住居の敷地に入ったり縁石に乗り上げるなどの苦情が。

高輪支所と警察で協議していただき、交差点に道路案内板を設置し、車の侵入を抑制できるようになりました。

私はこれを進めます

これまで、議会質問で取り上げてきた政策が前進しています。その課題認識と区の実践について紹介します。今回は子ども子育て施策、障がい児者施策です。

障がい者の日中の居場所確保に向けた取り組みを進めます！

課題

障害児は18歳まで放課後等デイサービスで午後6時頃まで過ごせますが、18歳以降に就労継続支援事業所などを利用すると午後4時頃に終了することが多く、その後の居場所の確保が課題です。

取組

区は日中一時居場所提供事業を実施していますが、就学児の見守り利用が中心でした。今年度から放課後等デイサービス事業者への開設支援を開始し、学校卒業後も夕方まで利用できる居場所の充実を図ります。

子どもの特性を早期に把握し、適切な支援へ 五歳児検診始まる！

課題

子育て世帯にとって子どもの発達には大きな関心事ですが、発達検査のニーズが高まる一方で、実施機関が不足し、初回検査まで1～2か月待ちとなるケースがありました。

取組

今年度より、就学前のお子さまの特性を早期に把握し、適切な支援につなげることを目的とした「5歳児健診（対象：概ね4歳6か月～5歳6か月）」がスタートします。

障がい者就労支援を拡充します！

課題

障がいの有無にかかわらず、誰もが能力を発揮し活躍できる社会の実現が求められています。障がい者雇用の法定雇用率が引き上げられる中、雇用を増やすだけでなく、一人ひとりの障がい特性に応じた就労につなげることが重要です。

取組

令和8年度からは、障害者就労支援センターに職場開拓支援員を配置し、障害特性や本人の希望に応じた就労支援と、企業への業務の切り分けなどの提案を行うことで、障害者と企業とのマッチングを一層強化します。

実績報告

区議会公明党はやりました！

私立学校等へ通う区民への給食費が実質無償化

「ユマニチュード」の普及・啓発事業を実施

港区議会公明党が平成28年度から導入を求めてきた結果、令和8年5月、港区立介護予防総合センター「ラクっちゃ」にて、認知症のケア技法「ユマニチュード」の普及・啓発を目的とした公開講座が実現しました。



私立学校等へ通う区民への給食費が実質無償化

港区で港区議会公明党の要望を受け、区立外の私立小・中学校等に通う区民を対象に、給食費相当額（小学生：年74,800円、中学生：年88,000円）の支給が開始されます。他制度で無償化されていない等の条件を満たす対象者へ、11月から申請書が送付され、12月から順次口座へ入金される予定です。



特別支援学級のキャリア教育部活動指始動

港区議会公明党の要望により、今年度から青山中学校に区内特別支援学級の生徒を対象とした「技能部」が新設されました。パソコン作業やネイル、フラワーアレンジメントを通じて将来の就労を見据えたキャリア教育を行う部活動、今後もさらなる活動の充実を支援していきます。



不登校支援に新たな選択肢！VLPを導入

港区で港区議会公明党の要望を受け、令和8年9月から不登校の児童・生徒を対象としたメタバース空間「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）」が導入されます。仮想空間でのアバターを通じた学習や相談、交流により、学校への登校が難しい子どもたちにも新たなつながりと学びの機会を提供します。



子育ての悩みに寄り添うセミナーが実現

港区議会公明党の要望を受け、令和8年7月に港区子ども家庭総合支援センターで「前向き子育てセミナー」が開催されます。体罰や暴言に頼らない実践的な育児法を学ぶことで、児童虐待の未然防止や保護者の負担軽減を図り、一人で抱え込まない子育てを支援します。



いじめ弁護士相談窓口が区長部局に設置

いじめに直面する子どもや保護者を支援する弁護士相談窓口が、区長部局に新設されます。学校側の対応に納得できない場合に相談でき、第三者の専門的・法的視点から現場の対応を整理することで、いじめ対応の強化と早期解決を図ります。



港区民優先席を39,000席確保

区で港区議会公明党の要望により、江東区内にも観覧席が確保された結果、港区内会場の約39,000席すべてが港区民優先席として確保されました。全席申込制で、7月6日から順次オンライン販売が開始されています。



中小企業の融資あっせん拡充

港区議会公明党が令和8年5月に清家愛区長へ提出した緊急要望が反映され、令和8年度港区補正予算にて中小企業向けの融資限度額が引き上げられました。7月1日から緊急支援融資と経営改善融資の限度額がそれぞれ1,000万円増額され、区内事業者の資金繰りを強力に後押しする体制が整いました。



道路下空洞調査（2車線未満）を実施・対応

令和7年5月21日、新橋駅周辺の1区道での道路陥没事故を受け、港区議会公明党がこれまで求めてきた2車線未満の区道への空洞探査が、令和7～8年度に緊急実施されることになりました。探査車によるレーダー調査で地下の空洞を早期発見・補修し、今後は2車線未満の道路についてもAI等の最新技術を活用した定期調査の実施を要望していきます。



車載式電磁波地中レーダー探査車



ハンディ型地中レーダー